



としょだより



平成25年1月18日

たかねにしよがっこうとしょかん
高根西小学校図書館



みなさん、冬休みはいかがでしたか？少しでも本を読む時間をもつことができたでしょうか？学校図書館や公共図書館に足を運ぶことができたでしょうか？

さて、3学期の貸し出しがスタートしました。3学期は他の学期に比べて貸し出し日数が少ないですが、目標を決めて色々な本を読んでもらいたいと思います。

今年もすてきな本とめぐり逢えますように・・・★

🏠家読(うちどく)はじめませんか？🏠

“家読(うちどく)”という言葉を知ったことがありますか？その名の通り、家で読書に関わる時間を作るということです。高根西小には本が大好きな人がたくさんいますが、借りた本を家でじっくり読めるようになってほしいと思います。ここで家読のやり方などを紹介しますので、皆さんの家でも取り組んでみましょう。

🗨️家読(うちどく)ってなあに？

「家読(うちどく)」とは、「お家で読書をする」ということです。難しいルールはいりません。家族みんなでやり方を決めてはじめてみましょう。

同じ本をみんなで読めば、会話もいっそう弾みます。お互いに本をすすめあう、家族そろって本屋さんで本を選ぶなど、読む本について相談しあうことでもコミュニケーションが深まることでしょう。

🗨️家読(うちどく)のやり方の例

※参考にしてください

★家族で同じ本を読もう

テレビやゲームを家族で楽しむのと同じように、本でも盛り上げられるって知ってた？
おもしろい本を読んだら、一人で楽しむだけなんてもったいない！家族に話してみよう。同じ本を読んでみんなはどんなことを感じるかな。

★読んだ本で話そう！

本の話からいろいろな会話が広がるよ。会話がはずむと、新しい発見がいっぱいあって、笑い声も聞こえてくるかも。
いっしょに本屋さんに行くのもいいね。みんなはどんな本を選ぶかな？

★読書ノートをつけてみよう！

みんなの読書ノートを作れば、家族の思い出・記録として残せるね。 など・・・

いじょう
以上「e-hon家読(うちどく)ホームページより」

たかねちよう
高根町には、「たかね図書館」があります。お休みの日などにお家の人と一緒に
い 行って、すてきな本を探してみるのもいいですね。





あた ら は い ほ ん し ょ う が い

新しく入った本を紹介します



『わたしのいちばん あこの1ばん』

アリソン・ウォルチ さく



バイオレットは走るのも注目度も何でも1番。わたしは1番にはなれないけど、それですごくないってことなのかな。1番がいちばんいいのかな…。

『へんしんおんせん』

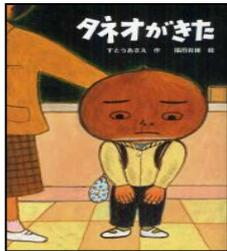
あきやま ただし さく



つかれた人も、こまっている人も、かなしんでいる人も、みんなおいで。“へんしんおんせん”は、はいるだけで元気になれちゃうんです！

『タネオがきた』

すとう あさえ さく



熊本から東京に引っこすことになったタミオ。でも、大好きなひいじいが倒れてしまい、心配でたまらない。タミオはひいじいの病気が良くなるように、ひいじいが大切にしていた大クヌギの実を東京で育てようとするが…。

『テーブルマナーの絵本』

高野 紀子 さく



尻頭つきのお魚が出てきたら？ 量がなくて食べきれなかったら？ ケーキはどこから食べる？ 親も子も知っておきたい和食・洋食・外食のテーブル作法を、イラストをふんだんに盛り込んでわかりやすく紹介する。

『てんやわんや名探偵』

杉山 亮 さく



探偵・ミルキー杉山が、密室強盗事件や、怪盗ムッシュによる大胆不敵なトリックに立ち向かう！「消えたムッシュ」「愛よかがやけ」など全3話を収録。事件編の手がかりをもとに謎ときを楽しもう！

『ぼく、仮面ライダーになる ウィザード編』

のぶみ さく



ようちえんに行きたくないかんたろうが、家にひみつきちを作ってかくれていると、ようちえんがショッカーにおそわれてしまいました。かんたろうがようちえんなんてどうでもいいと言うと、ウィザードリングが光りだして…。

『おしごとと制服図鑑』



仕事のひみつは制服にあり。宇宙飛行士、海上保安官、ホテルのスタッフ、デパートの販売員…。プロフェッショナルたちの仕事とその心意気を、制服や持ち物などを通して紹介する。

『ギネス世界記録2013』



宇宙から、冒険、エンタテインメント、スポーツまで、あらゆるジャンルのギネス世界記録がのっているよ。日本各地で生まれた世界一の記録や「Hey! Say! JUMP」メンバーのインタビューなども収録。

『ロボット世界のサバイバル』



世界ロボット大会に参加したジオたち一行。だが、突然停電が起きてロボットワールドに閉じ込められてしまう。さらに、ロボットたちの動きもおかしくなってしまう…。

『いつか帰りたいぼくのふるさと』大塚 敦子 さく



2011年3月11日に起きた原発事故で、すべてが変わってしまった…。警戒区域内で保護され、東京で暮らすことになった猫のキティの目を通して、福島で暮らしていた人々の現実を伝える。

この他にもたくさんのお本が仲間入りしました。図書館にきて読んでみましょう♪

